

教科・分野		週時間数	クラス		担当者
国語総合 (現代文)		2	A・B		白 神
目 標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなジャンルの文章を味わい、物の見方や感じ方を深める。</li> <li>・時と場合に応じて、自分の考えを的確に相手に伝える表現力を養う。</li> <li>・豊かな語彙力を身につけ、その場に応じて適切に使える力を養う。</li> <li>・読書に親しみ、登場人物の心情を把握し、感動する心を培う。</li> <li>・「新聞の社説を読もう」で時勢を把握し、自分の意見をもち、語彙力を高める。</li> </ul>			
大切に育てたいもの		聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を的確にわかりやすく伝えること</li> <li>・人の意見の要点を正しく聞き取ること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場合に応じて、自分の考えを的確に伝えること。</li> <li>・表現力豊かに、自分の考えを書くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を味わい、筆者の意見や考えを的確に読み取ること。</li> <li>・登場人物の心情を適切に把握すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字力</li> <li>・語彙力</li> <li>・敬語の使い方</li> <li>・文法の正しい知識</li> <li>・豊かな言語感覚</li> </ul>
学期	考査	学 習 内 容		学 習 の ね ら い	
一 学 期	中間	(評論) 水の東西 (小説) 羅生門 (表現) 折り句・エッセイ 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化や文明の背後にあるものを考えることで、今後の方向性や自らのあり方を探る。</li> <li>・人間の微妙な心理の変化を読み取り、善悪の価値観について考えを深める。</li> </ul>	
	期末	(小説) 羅生門 (評論) マルジャーナの知恵 (表現) 意見文・川柳 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の微妙な心理の変化を読み取り、善悪の価値観について考えを深める。</li> <li>・情報の本質について理解する。</li> <li>・自分の訴えたいことをまとめ、他にわかりやすく伝える。発表会をする。</li> </ul>	
二 学 期	中間	(短歌・俳句) (評論) 日常性の壁 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な短詩型文学を鑑賞し、自らも創作する。</li> <li>・身近な疑問を考える意識を養い、「思考する」ことから新たな創造性を養う。</li> </ul>	
	期末	(小説) 青が消える (評論) 働くことの意味 (表現) ディベート 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説の特質から、「ありえない」ことについて考える。</li> <li>・生活を取り巻く文化について知り、考える。</li> <li>・トーク・バトルとしてのディベートの、立論の組み立て方や反駁の仕方を学習し、説得力のある論を展開できるようにする。</li> </ul>	
三 学 期	期末	(評論) 漢文脈と近代日本 (小説) 城の崎にて (表現) 小論文 「新聞の社説を読もう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の歴史について知り、探求していく。</li> <li>・時代背景や主人公の考え方を通して作者の主張を考察する。</li> <li>・論理的に自分の考えを組み立て、豊かに表現する力を身につける。</li> </ul>	
評 価 の 方 法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査 ・書き取り50問テスト・読書記録 ・新聞の社説を読もう・漢字練習プリント ・短歌・川柳・折句・俳句などの創作・小論文・読書感想文・意見文・その発表</li> <li>その他の提出物・授業態度 など</li> </ul>			
学 習 活 動 の 特 徴		・講義形式・発表形式・ディベート形式・班活動形式 など			
授 業 の 形 態		クラス一斉授業			
使 用 教 科 書		『新精選国語総合 現代文編』 明治書院			
使 用 副 教 材		<ul style="list-style-type: none"> <li>・『頻出漢字マスター3000』尚文出版 ・『国語総合ガイド』 京都書房</li> <li>・自作資料「新聞の社説を読もう」・週末課題の問題集</li> </ul>			
用 意 す る も の		教科書・ノート・国語辞典・国語総合ガイド			
備 考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新聞の社説を読もう」は週一回実施 読書記録は適宜</li> <li>・漢字小テストは週一回実施 意見文はクラス・全体で発表会を行う。</li> <li>・四字熟語テストを適宜行う。</li> </ul>			

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
国語総合 古文	2	全コース	A～D	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代によって、また人によって異なる多様なものの見方や考え方に触れる。</li> <li>・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。</li> <li>・古語に対する知識を得る。</li> <li>・古典作品への興味を喚起する。</li> </ul>			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古語の音読を正しく聞く力。</li> <li>・古語を正しく音読する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古語を正確に筆写する力。</li> <li>・古語を適切な現代語に翻訳する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な古典作品に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が理解できる語句を増やすこと。</li> <li>・古典文法を習得すること。</li> </ul>

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	説話 「児のそら寝」 (宇治拾遺物語) 他 随筆 「つれづれなるままに」他 (徒然草)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取る。</li> <li>・動詞の活用(四段・上一段・上二段・ナ変・ラ変)を確認する。</li> <li>・文学史的知識を得る。</li> </ul>
	期末	随筆 「奥山に猫またといふものありて」他(徒然草) 物語 「かぐや姫の生ひ立ち」他 (竹取物語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取る。</li> <li>・動詞(下一段・下二段・カ変・サ変)、形容詞、形容動詞の活用を確認する。</li> <li>・文学史的知識を得る。</li> </ul>
二学期	中間	物語 「芥川」他(伊勢物語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取る。</li> <li>・助動詞を確認する。</li> <li>・文学史的知識を得る。</li> </ul>
	期末	和歌(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集) 軍記「巴」他(平家物語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・和歌の修辞を理解する。</li> <li>・和歌の内容や、文章の展開を読み取る。</li> <li>・助詞を確認する。</li> <li>・文学史的知識を得る。</li> </ul>
三学期	学年末	日記「門出」他(土佐日記) 紀行「旅立ち」他 (奥の細道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や文法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取る。</li> <li>・既習の文法事項を確認する。</li> <li>・文学史的知識を得る。</li> </ul>
評価の方法		学習態度・意欲(課題の提出状況も含む)・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		基礎を大切に、古語を理解する力を身につける。	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『新精選国語総合古典編』(明治書院)	
使用副教材		『読解をたいせつにする体系古典文法 八訂版』(数研出版) 他	
用意するもの		古語辞典	
備 考		特になし	

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
国語総合 漢文	2	全コース	A～D	小山 潤子
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢籍の豊かで多様なものの見方や考え方に触れる。</li> <li>・作品の背景にある歴史や文化への関心を高める。</li> <li>・漢文を訓読する力を身につける。</li> <li>・漢籍への興味を喚起する。</li> </ul>			
大切に育てたいもの	聞くこと・話すこと	書くこと	読むこと	言語事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の音読を正しく聞く力。</li> <li>・漢文を正しく音読する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文をを正確に書き下す力。</li> <li>・漢文を適切な現代語に翻訳する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文に触れることで広がる、歴史文化への興味と思索。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読を正確に行えるようにすること。</li> <li>・句法・漢語を理解すること。</li> </ul>

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	訓読の基礎 故事「守株」他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読の基礎を身につける。(再読文字を除く)</li> <li>・文章の訓読を確認する。</li> <li>・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取る。</li> </ul>
	期末	故事「螻蛄之斧」他 史伝「鶏口牛後」他 (十八史略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再読文字を確認する。</li> <li>・文章の訓読を確認する。</li> <li>・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取る。</li> <li>・中国史についての知識を得る。</li> </ul>
二学期	中間	唐詩「春暁」他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読を確認する。</li> <li>・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・詩の内容を読み取る。</li> <li>・近体詩(絶句・律詩)についての知識を得る。</li> </ul>
	期末	思想『論語』他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の訓読を確認する。</li> <li>・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取る。</li> <li>・諸子百家の思想についての知識を得る。</li> </ul>
三学期	学年末	文「桃花源記」他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の訓読を確認する。</li> <li>・漢字の意味や句法を確認しつつ内容を把握する。</li> <li>・文章の展開を読み取り、テーマに迫る。</li> </ul>
評価の方法		学習態度・意欲(課題の提出状況も含む)・各種考査によって総合的に判断。	
学習活動の特徴		基礎を大切に、漢文を理解する力を身につける	
授業の形態		講義形式	
使用教科書		『新精選国語総合』(明治書院)	
使用副教材		『必携新明説漢文』(尚文出版)他	
用意するもの		漢和辞典	
備考		特になし	